

ディスコグラフィー収載

ディスコグラフィー【2025No.202】(HP 収載)

分類 : LP

作曲家 : ヨハン・シュトラウス 1 世他

曲名 : 自由行進曲 作品 226 他

演奏 : リッカルド・ムーティ指揮 ウィーンフィル:

発売 : SONY CLASICAL

No. : 19802875611

概要 :



毎年 1 月 1 日に行なわれるウィーンフィルのニューイヤー・コンサート。クラシック音楽の中でも最も有名で、ウィーンの誇る黄金のムジークフェラインザールから TV とラジオを通じて世界 90 カ国以上に放送され、5 千万人が視聴するというビッグ・イベント。1939 年に始まる 75 年以上の歴史を誇るこのコンサートでは、音楽の都ウィーンを象徴するシュトラウス一家のワルツやポルカが演奏されます。

ヨハン・シュトラウス 2 世生誕 200 年アニバーサリーの髣髴を飾る 2025 年は名実ともにクラシック音楽界の世界的巨匠リッカルド・ムーティがコロナ禍無観客公演だった 2021 年以来 4 年ぶり 7 度目の登場。1971 年以来 50 年以上にわたって共演を重ね気心知れた巨匠のもとでのニューイヤーは大きな期待が膨らみます。

演奏曲目は定番の「美しく青きドナウ」「ラデッキー行進曲」などに加えて、19 世紀に活躍した女性作曲家コンスタンツェ・ガイガーのワルツが含まれています。

(ソニーミュージック)

【収録内容】

第 1 部

ヨハン・シュトラウス1世：

1.自由行進曲 作品226

ヨーゼフ・シュトラウス：

2. ワルツ「オーストリアの村燕」 作品164

ヨハン・シュトラウス2世：

3.ポルカ・フランセーズ「城壁撤去」 作品269

4. 「入り江のワルツ」 作品411

エドゥアルト・シュトラウス：

5. ポルカ・シュネル「軽やかに、匂やかに」 作品206

## 第2部

ヨハン・シュトラウス2世：

6. オペレッタ「ジプシー男爵」序曲

7. ワルツ「加速度円舞曲」 作品234

ヨーゼフ・ヘルメスベルガー2世：

8. オペレッタ「すみれ娘」から「愉快な仲間の行進曲」

コンスタンツェ・ガイガー：

9. フェルディナンドウス・ワルツ（編曲：W.デルナー）

ヨハン・シュトラウス2世：

10. ポルカ・シュネル「あれかこれか！」 作品403

ヨーゼフ・シュトラウス：

11. ワルツ「トランスクツィオネン」 作品184

ヨハン・シュトラウス2世：

12. アンネン・ポルカ 作品117

13. ポルカ・シュネル「トリッチ・トラッチ・ポルカ」 作品214

14. ワルツ「酒・女・歌」 作品333

他 アンコール曲を収録予定

\*日本ヨハン・シュトラウス協会刊の『ヨハン・シュトラウス2世作品目録』(2006)、

『ヨーゼフ・シュトラウス作品目録』(2019)に従っています。

[録音] 2025年1月1日、ウィーン、ムジークフェラインザールでのライヴ・レコーディング

本盤の元の演奏の放送とその録画やEテレの配信とこれらのDSD録音については、放送ストリーミング情報(2025No.363)で報告済です。

今回の本盤の再生に際しては、これまでに実施してきた対策の効果の確認という意味もあります。最新の録音ですので、RIAA、正相、第4時定数Highで聴いていきます。

聴き始めの1曲目から、レコードアンチスタティックの効果とともにアースアキュライザー経由の最近導入した仮想アースCrystal E-Gの効果もあって、ウィーンフィル

らしい肌触りのよい弦や木管の美しさと中低域の厚みのある音で文句なしに楽しめました。

放送録画や E テレの配信からの DSD 録音も再生してみましたが、ステージ感の表現などは、アナログ盤再生には及ばないまでも、かなりの水準に達してきていることが分りました。

さらに 2018 年の同じくムーティ指揮のウィーンフィルのニューイヤー・コンサートのアナログ盤もありますので、これも聴いてみました。こちらの方も、レコードアンチスタティックが加わり、スピーカーアキュライザーの出力側のマイナス端子に Crstal EpY-G をセットしていること、Magic Mat II の使用、ZANDEN Model 120 の仮想アースを Crstal E-G に替えたことなどの効果で様変わりしており、自然なステージ感の情景を聴かせてくれています。



以上